



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 オリオンビール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 409A URL <https://www.orionbeer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村野 一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員副社長 (氏名) 亀田 浩 (TEL) 098(971)6354
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,189	2.0	1,358	△9.0	953	△11.4	967	△10.9	653	△56.1
2026年3月期第1四半期	7,045	—	1,493	—	1,076	—	1,084	—	1,488	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 653百万円(△56.1%) 2026年3月期第1四半期 1,488百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	15.47	14.91
2026年3月期第1四半期	36.46	—

(注) 1. 2025年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2026年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2026年3月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2026年3月期第1四半期連結会計期間末時点においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

3. EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	43,172	17,725	41.0
2026年3月期	44,089	18,483	41.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 17,722百万円 2026年3月期 18,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,001	1.4	3,190	△9.1	2,392	△12.0	2,352	△10.1	1,605	△36.9	37.46
通期	31,119	4.7	5,948	1.2	4,352	0.9	4,185	1.6	2,932	△19.5	66.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	42,576,000株	2026年3月期	42,253,200株
2027年3月期1Q	425,039株	2026年3月期	39株
2027年3月期1Q	42,236,839株	2026年3月期1Q	40,813,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社は「沖縄から、人を、場を、世界を、笑顔に。」をミッションとし、魅力ある商品・体験を沖縄県民、観光客にお届けし、沖縄と共に持続的な成長を実現する「循環成長型ビジネスモデル」を掲げ、企業価値向上を追求しております。沖縄県内での酒類販売やリゾートホテルでのサービス提供を通じて、沖縄の魅力を価値として提供すると共に、県外・海外において沖縄を想起する施策を展開することで、ブランドロイヤリティを向上していくビジネスモデルを進めています。

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における経営成績は、売上高は143百万円増加し、7,189百万円（前年同期比+2.0%）、営業利益は122百万円減少し、953百万円（前年同期比△11.4%）、経常利益は117百万円減少し、967百万円（前年同期比△10.9%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前連結会計年度に売却した不動産売却益の剥落等により834百万円減少し、653百万円（前年同期比△56.1%）となりました。

当社グループでは、酒類清涼飲料事業及び観光・ホテル事業の2つの事業セグメントを展開しております。各事業セグメントの内容及び業績は以下のとおりです。

酒類清涼飲料事業

酒類清涼飲料事業は、ビール類を中心に展開しております。

当社が手掛ける「オリオン」は、沖縄に根差し共に成長を遂げた、沖縄を代表するビールブランドであり、「オリオン ザ・ドラフト」が主力商品となります。同商品は沖縄の大麦、水を使用し、温暖な気候に合わせたすっきりとした味わいが特徴です。また、県産のフルーツを豊富に使用したRTD（Ready to Drink：缶チューハイ等すぐに飲めるアルコール飲料）やフルーツワイン、沖縄の伝統的な蒸留酒である泡盛とその副産物を使用したもろみ酢等の製造・販売、並びに「オリオン」ブランドを活用したIPビジネス等、沖縄と共に成長する「循環成長型ビジネスモデル」を強化することにより、沖縄県内、県外、海外に向け、魅力ある商品・体験をお届けしています。

酒類清涼飲料事業においては、県内の圧倒的ポジション確立、県外の持続的な成長、海外エリアでの販売拡大に向け、商品開発と販売力強化を図ってきました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は堅調な推移を見せ、287百万円増加し、売上高は6,027百万円（前年同期比+5.0%）となりました。製造工程見直しによる粗利率の改善を行ったものの、主力商品である「オリオン ザ・ドラフト」のブランド強化に向けた先行投資負担等により、営業利益は111百万円減少し、921百万円（前年同期比△10.8%）となりました。

観光・ホテル事業

沖縄は豊富な観光資源とアジア諸国に近接する地理的優位性により、ハワイに匹敵する数の観光客が訪問する地域であり、観光客数・観光収入が増加傾向にあります。

そのような中、観光・ホテル事業ではオリオンホテルモトブリゾート&スパ（本部町）を主軸に、創業の地である沖縄県北部を中心として、地域と連携した「オリオン」ブランドの経験価値向上と沖縄観光業の振興を図っております。

2026年度においては、客室単価向上のためにレベニューマネジメントを強化し、自社HPからの予約促進や海外チャネルの強化によるインバウンドの取込みを積極的に行っております。中国の渡航自粛要請による影響は限定的であり、台湾や韓国、欧米等からのインバウンド流入が好調に推移しております。また、近隣施設である美ら海水族館やジャングリア沖縄との協業により、ファミリー層をターゲットとした投資やアクティビティの提供を行っております。その結果、オリオンホテルモトブリゾート&スパの稼働率、客室単価の双方が前年同期を上回ったものの、前連結会計年度に売却したオリオンホテル那覇の剥落により、観光・ホテル事業の第1四半期連結

累計期間における売上高は143百万円減少し、1,162百万円（前年同期比△11.0%）となり、営業利益は11百万円減少し、34百万円（前年同期比△24.3%）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して916百万円減少し、43,172百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少2,245百万円、売掛金の増加410百万円、建設仮勘定の増加851百万円になります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して158百万円減少し、25,447百万円となりました。主な要因は、未払金の減少381百万円、未払法人税等の減少45百万円、買掛金の増加114百万円、流動負債その他の増加203百万円になります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して758百万円減少し、17,725百万円となりました。主な要因は、配当金支払による減少1,014百万円、自己株式の取得による減少490百万円、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益による増加653百万円になります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,506	8,260
売掛金	2,489	2,899
商品及び製品	1,358	1,628
原材料及び貯蔵品	813	713
その他	339	452
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,506	13,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,218	27,281
減価償却累計額	△13,471	△13,694
建物及び構築物（純額）	13,747	13,586
機械装置及び運搬具	20,646	20,647
減価償却累計額	△17,939	△18,036
機械装置及び運搬具（純額）	2,707	2,611
土地	7,448	7,448
建設仮勘定	279	1,130
その他	2,248	2,403
減価償却累計額	△1,588	△1,645
その他（純額）	660	757
有形固定資産合計	24,843	25,535
無形固定資産		
のれん	112	106
その他	587	582
無形固定資産合計	699	688
投資その他の資産		
投資有価証券	2,668	2,676
その他	491	436
貸倒引当金	△119	△119
投資その他の資産合計	3,039	2,993
固定資産合計	28,582	29,217
資産合計	44,089	43,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,102	1,217
1 年内返済予定の長期借入金	705	705
未払金	2,231	1,850
未払酒税	883	872
未払法人税等	331	285
賞与引当金	415	400
役員賞与引当金	26	1
その他	1,178	1,382
流動負債合計	6,875	6,716
固定負債		
長期借入金	15,655	15,622
繰延税金負債	1,462	1,474
役員退職慰労引当金	17	15
退職給付に係る負債	322	338
資産除去債務	82	82
長期預り金	999	998
その他	190	199
固定負債合計	18,730	18,730
負債合計	25,605	25,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	607
資本剰余金	14,291	14,338
利益剰余金	3,626	3,266
自己株式	△0	△491
株主資本合計	18,479	17,722
新株予約権	4	3
純資産合計	18,483	17,725
負債純資産合計	44,089	43,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025 年 4 月 1 日 至 2025 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026 年 4 月 1 日 至 2026 年 6 月 30 日)
売上高	7,045	7,189
売上原価	3,360	3,540
売上総利益	3,685	3,648
販売費及び一般管理費	2,608	2,694
営業利益	1,076	953
営業外収益		
受取利息	0	7
受取配当金	66	81
持分法による投資利益	11	8
その他	37	21
営業外収益合計	115	118
営業外費用		
支払利息	62	82
その他	44	22
営業外費用合計	107	104
経常利益	1,084	967
特別利益		
固定資産売却益	844	2
資産除去債務戻入益	208	—
特別利益合計	1,053	2
特別損失		
固定資産除却損	2	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	2,135	964
法人税、住民税及び事業税	574	292
法人税等調整額	73	18
法人税等合計	647	311
四半期純利益	1,488	653
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,488	653

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025 年 4 月 1 日 至 2025 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026 年 4 月 1 日 至 2026 年 6 月 30 日)
四半期純利益	1,488	653
四半期包括利益	1,488	653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,488	653

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	酒類清涼飲料 事業	観光・ホテル 事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,739	1,306	7,045	—	7,045
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,739	1,306	7,045	—	7,045
セグメント利益	1,033	45	1,079	△2	1,076

(注) 1 セグメント利益の調整額△2百万円には、減価償却費の調整額△2百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	酒類清涼飲料 事業	観光・ホテル 事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,027	1,162	7,189	—	7,189
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,027	1,162	7,189	△0	7,189
セグメント利益	921	34	956	△2	953

(注) 1 セグメント利益の調整額△2百万円には、減価償却費の調整額△2百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025 年 4 月 1 日 至 2025 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026 年 4 月 1 日 至 2026 年 6 月 30 日)
減価償却費	414 百万円	405 百万円